

謹賀新年

2015年の年頭にあたり、謹んで新年の挨拶を申し上げます。

日頃より、越谷市介護保険サービス事業者連絡協議会の運営に対し、ご支援を賜り心より御礼申し上げます。

さて、年の瀬の衆議院選挙では、概ね新聞等で報道されていた予測に沿った結果となり、アベノミクスにより徐々に景気がよくなってきているとはいえ、まだまだ好景気とは言えない状況において、介護・福祉・医療のマーケットは拡大傾向にあります。2010年の介護保険の総費用が7.9兆円に対し、2025年には約20兆円になる見通しであり、現在の日本においてこれだけ急拡大を見せる産業は珍しいものです。一方、慢性的な人材不足は業界の重大な課題となっており、協議会でもこの課題には高い危機感を抱き、昨年11月に越谷市内の事業者（所）に1人でも多くの介護人材雇用へと繋がればと「こしがや介護フェスタ2014」の開催を致しました。

2015年4月には介護報酬の見直しと共に、医療・介護一体改革に向けた制度改革の第一歩として、「医療から介護へ」、「施設から在宅へ」の方向を踏まえた改革の意向です。また、社会保障の考え方としての「自助・互助・共助・公助」を基本とする旨の整理、それらを踏まえ、平成37（2025）年を目標制度とした「地域包括ケアシステム」の完成に向けた第一歩という位置づけであるものでしょう。自分でできることは自分で行うことを原則に、公的サービスに頼る前に、地域の互助の推進、その上で共助、それでも対応できない場合には公助という考え方からも、この連絡協議会でも更なる事業者（所）間、またサービス間の連携が重要となってきます。

そして、もしも介護が必要となった場合でも、いつまでも住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続ける事が出来る社会を築いていく事が、社会、地域、市民からの期待であり、その期待に応えられる連絡協議会としていく所存で御座います。

本年も皆々様の益々のご発展を祈念いたしまして、新年の挨拶と致します。

2015年1月1日

越谷市介護保険サービス事業者連絡協議会 会長 **八幡 雅冬**